

# 特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2011年度第27回理事会議事録

- 1 日時 2011年7月14日(木) 13時00分～16時45分
- 2 会場 こうち男女共同参画センター プライベート室
- 3 理事総数および出席者数  
理事総数 13名 出席者数 12名  
出席理事 石川妙子、上野伊佐子、内田洋子、兼松憲一、兼松方彦、坂本彰、滝石典子、  
谷川徹、橋本正博、松本和子、谷地森秀二、山本稔  
幹事 濱松英彦  
事務局 上田史、近藤純次、塚崎由子
- 4 議長 議長 \_\_\_\_\_ 印
- 5 議事録署名人 議事録署名人 \_\_\_\_\_ 印 ・ \_\_\_\_\_ 印
- 6 議事録作成人 事務局 塚崎

議長は定款に基づき理事長が就いた。議事録署名人は石川理事、谷地森理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

## 7 報告事項

### ①2011年度事業計画および6月事業経過について(資料1-1)

### ②委託業務内容確認(資料1-2)

### ③収支報告(資料1-3)

資料をもとに、兼松理事長が報告した。

[質問]

- 資料1-1 事業経過 P.4 高知県地球温暖化防止セミナー等の開催に、6/28 実施のエコ隊長推進教室が入っているが、これは県民部会の「子どもにもつけられる環境家計簿」事業ではないか。  
→セミナーの報告書が提出されていたため、事業経過に反映した。担当者に再度確認する。

### ④各部会からの報告

#### ○環境活動支援センターえこらぼ部会(資料1-4)

資料をもとに、谷地森部会長が報告した。

[確認事項]

エコポイント寄付金でのプロッター購入について

- エコポイント事務局より、推進員が市町村と連携して行う事業に限らず、推進員の活動全般を支援するために利用してよいという確認が取れた。設置スペースの問題等があるため、以降、部会長と事務局で検討する。

#### ○地球温暖化防止センター部会(資料1-5)

資料をもとに、松本部会長が報告した。

【懸案事項】

温暖化防止センターの規約を文書化して明確にする。早急に規約方針案を提示する。

[確認事項]

- 課題や解決すべき部分についての具体的な審議がされていないので、まずは考え方の整理を行う。
- 規約を文書化するための作業メンバーは、えこらぼ部会長 谷地森、センター部会長 松本、理事長 兼松、副理事長 石川、副理事長 橋本、事務局長 山本の6名とする。

### ⑤会員数の報告(資料1-6)

6月末現在の会員数について報告した。

## 8 審議・検討事項

### ①広報部会立ち上げの基本的考え方について（資料 2-1）

山本事務局長より、現在広報部会準備会において、広報展開の考え方を説明。主として経営施策に基づく展開が必要で、この視点に立った広報試案をパワーポイント資料で説明し、意見を求めた。

[意見]

- まずは、会員の獲得。次に団体の社会的価値を高めていくことだろう。これだけでも大変なことであり、示された発信型事業試案は、時期的にまだ早いと思う。
- 新しい視点だと思う。ひとつの事業が広報の視点等多くの側面を持っていることは大切だ。

[確認事項]

- 広報活動ができるよう、団体の独自性を整理する。広報部会準備会を継続し、次回の理事会にむけ、より具体的なたたき台づくりのための作業を行う。

### ②環境の杜こうちの経営課題について（資料 2-2）

山本事務局長より、経営環境の整理と解決の方向性を提示し、現状に沿った社会テーマに関する対応方針について、広報部会のあり方とリンクさせた討議と意見を求めた。

[意見]

- 環境の杜こうちのビジョンを明らかにするために、全員参加の体制づくりをすべきでは。ビジョンとミッションの関係についても、全員での合意形成と共有化ができればよい。
- まずは当初のミッションを基本に、具体的方策を出したほうがよいだろう。
- 事業を受託するにあたり、経営の視点で見ることが必要。ただし、その視点だけに片寄るのではなく、バランスが必要。

【決定事項】

経営課題については、次回の理事会でより深く議論するために、メールで意見の集約を行う。

### ③こうち山の日推進事業費補助金事業 学校移動博物館「豊かな森の住人たち」について（資料 2-3）

事業担当の谷地森理事が、採択された事業内容と支出負担について説明を行った。

50万円の補助金に対して、支出予定額は508,943円。8,943円+展示設営撤収費+展示解説講師謝金の超過分に関し、支出の承認を求めた。

【決定事項】

県の環境学習講師派遣事業で、設営費用・講師謝金の予算計上もされており、承認された。

### ④高知県豊かな環境づくり総合支援事業費補助金事業「鏡川自然塾開催事業」について（資料 2-4）

事業担当の坂本理事が、採択された事業内容の説明を行った。

50万円の補助金に対して、支出予定額が554,000円であること。支出負担分を賄うべく、すでに会員からの寄付金が入っていることを報告した。また、補助金事業実施にあたっては、理事会の議案とすることを提案した。

[意見]

- 予算面で、経費支出が赤字になる場合は、理事会の承認が必要であると思うが、そうでない場合は、報告のみで承認を得る必要はないと思う。

【決定事項】

途中で理事の退席が相次ぎ、定数に満たなかったため、本事業の支出負担の承認および補助金事業実施における理事会承認の可否については、メールで審議を行うこととする。

## 9 今後のスケジュールについて確認を行い、議長が閉会の挨拶をし、理事会が閉会した。

以上